

令和8年6月

卓球部顧問・指導者の皆様へ

卓球部員のみなさんへ

東京都高等学校体育連盟卓球男子専門部委員長

東京都立多摩工科高等学校 平 雅行

大会参加者へのお礼

みなさんこんにちは。東京都高等学校体育連盟卓球男子専門部委員長、東京都立多摩工科高等学校の平雅行です。

お陰をもちまして、4月から6月の3箇月間にわたり、東京都春季卓球大会、東京都高等学校総合体育大会を無事に終えることができましたことに対し、感謝申し上げます。

多くの高校3年生の卓球部員は東京都高等学校総合体育大会が高校生活最後の大会になったかと思います。そしてこの3箇月間、特に高校3年生のみなさんは持てる力を存分に発揮され、思い出に残る大会になったのではないかと考えております。

今年度は以前よりも会場確保が難しくなり、土曜日午前中から大会を実施するなど過密日程だったにもかかわらず、例年以上に選手のマナーが良く、大会後のゴミや忘れ物もかなり少なくなってきました。ご協力ありがとうございます。

卓球部顧問の先生方、そして指導者の皆様におかれましては、これまで卓球に対して一所懸命に取り組んでこられた生徒に対し、今後も活力のある高校生活を過ごすことができますようご指導・ご支援のほど、よろしくお願いたします。

最後に、私が大切にしている言葉に「蒔いた種の通り花が咲く」という教えがあります。この言葉を3年生の卓球部員のみなさんに送ります。当たり前のことですが、チューリップの種を蒔いてひまわりの花は咲きません。それと同じように私たちの人生には蒔いた種に合わせた実が生まれる原因、結果（因果）の法則があります。今が良いものであれば良い種を蒔いた結果であり、良くないものであれば良くない種を蒔いた結果なのです。何も努力しなくて良い結果だけを望んでも良い結果はできません。また、良いことを行えばいつかは良い結果が出ます。悪いことを行えばいつかは悪い結果が出ます。決して他人や環境や運命のせいではありません。自分で蒔いた種が花を咲かせているのです。

みなさんには、これからも良い種を蒔き続けてほしいと思い、この言葉を紹介させていただきました。今後のご健闘をお祈りいたします。